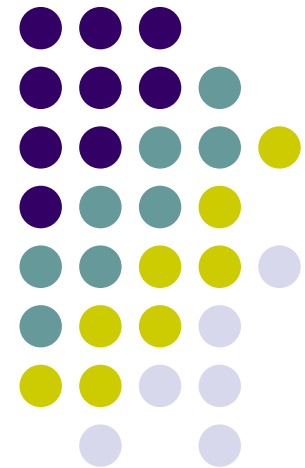


平成27年3月期第2四半期累計
決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所
JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……7
- 今後の見通し ……8
- 売上高および経常利益の見通し ……9
- 品種別売上高の見通し ……10
- 免責事項 ……11

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本社所在地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事業内容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・
会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う前倒し需要の反動減や天候不順の影響により力強さに欠けたものになりましたが、政府の諸政策や日銀の金融緩和を背景に緩やかに回復を続けています。このような状況下において、当社の主原料であります原紙価格の上昇やエネルギーコスト、輸送コストの高騰や製品価格の軟調等により次のような結果となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,475百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。利益面におきましては、経常利益128百万円(前年同四半期比41.1%減)、四半期純利益69百万円(前年同四半期比47.1%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

平成27年3月期第2四半期累計 業績概要①



売上高2,475百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。利益面におきましては、経常利益128百万円(前年同四半期比41.1%減)、四半期純利益69百万円(前年同四半期比47.1%減)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成26年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成25年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,475	2,397	3.2%
営業利益	120	214	-43.7%
経常利益	128	217	-41.1%
四半期純利益	69	131	-47.1%



業績概要②

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ230百万円減少し、6,966百万円となりました。これは主に現金及び預金と原材料及び貯蔵品が減少したことによるものであります。負債は、前事業年度末に比べ258百万円減少し、2,314百万円となりました。その結果、純資産は4,651百万円となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成26年9月末)	前期末 (平成26年3月末)
流動資産	4,020,920	4,344,821
現金及び預金	2,571,117	2,696,517
受取手形	491,091	472,259
売掛金	707,872	738,095
たな卸資産	206,067	332,170
その他流動資産	44,771	105,777
固定資産	2,945,488	2,852,127
有形固定資産	2,597,292	2,608,322
無形固定資産	15,459	16,219
投資その他の資産	332,735	227,584
資産合計	6,966,409	7,196,948

(単位:千円)

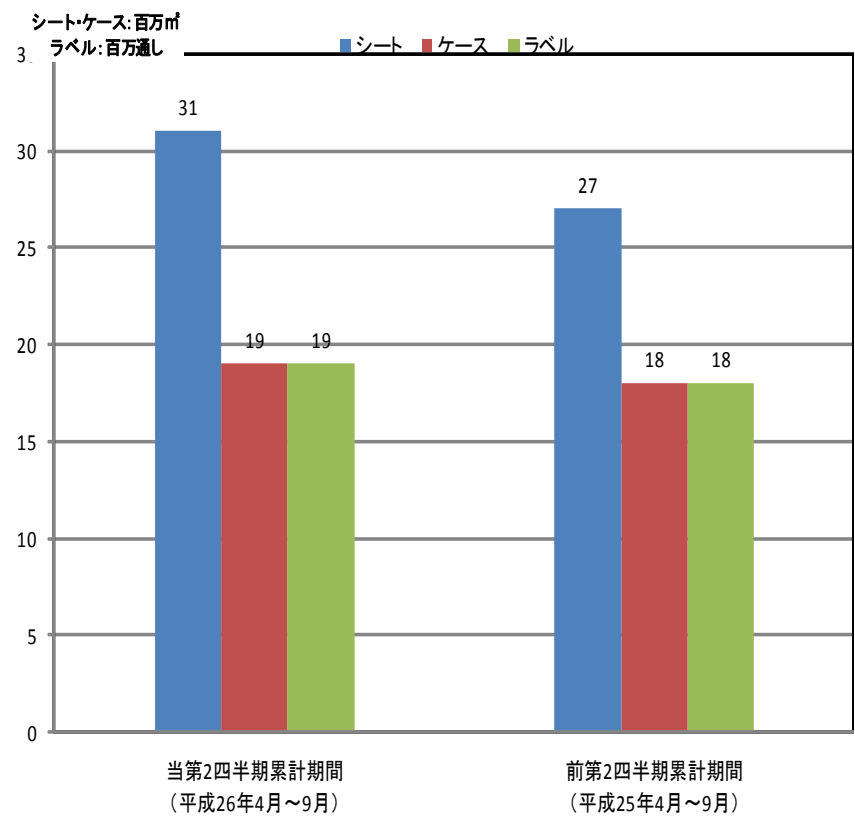
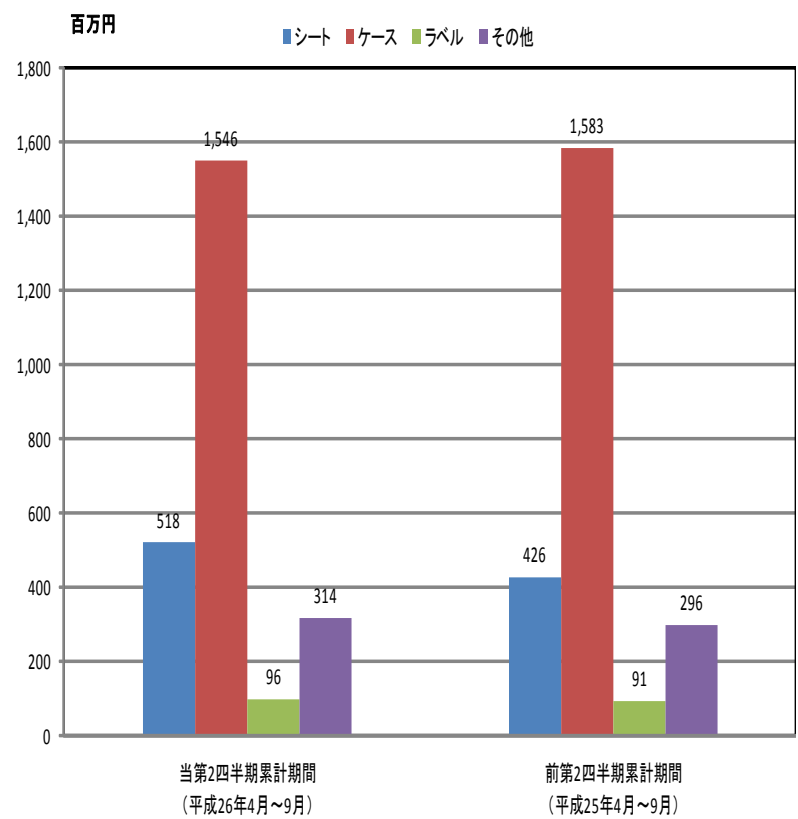
負債・純資産の部	当期末 (平成26年9月末)	前期末 (平成26年3月末)
流動負債	1,482,396	1,706,494
支払手形	843,832	944,784
買掛金	154,390	130,495
未払法人税等	48,880	103,103
その他の流動負債	435,292	528,111
固定負債	832,353	866,569
退職給付引当金	170,818	172,847
役員退職慰労引当金	374,889	371,058
その他	285,644	322,663
負債合計	2,314,750	2,573,063
純資産合計	4,651,658	4,623,885
負債・純資産合計	6,966,409	7,196,948



品種別売上高及び生産実績

シート・ラベル・その他は売上増加、ケースは売上減少となりました。

シート・ケース・ラベルは生産増となりました。





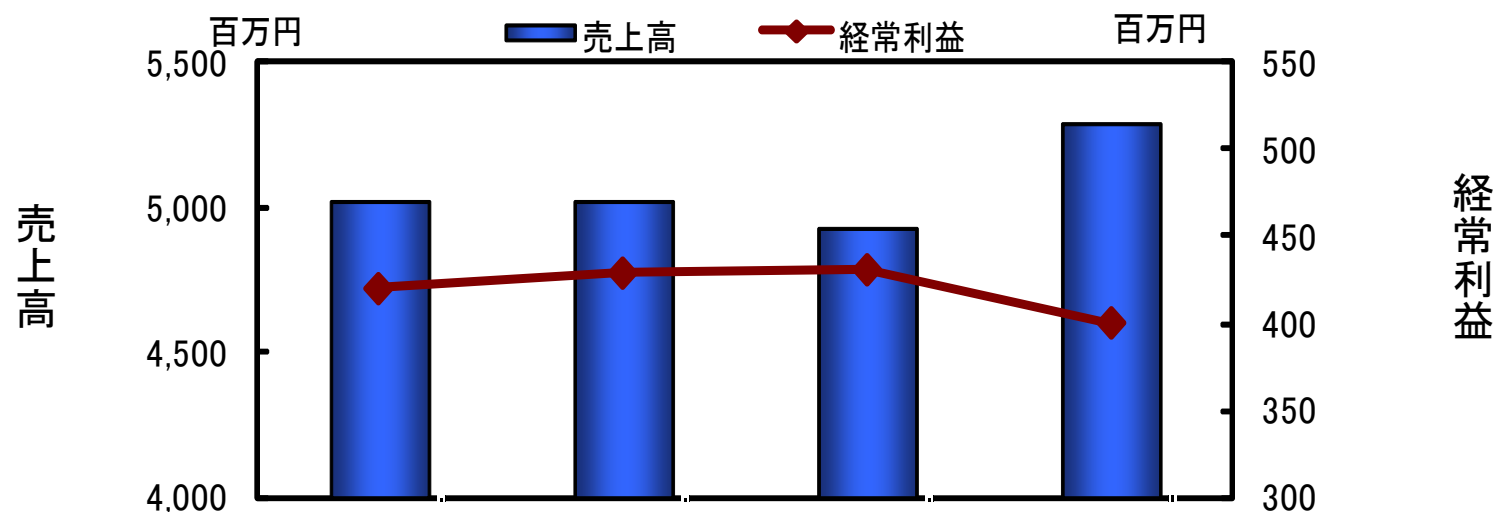
今後の見通し

- 通期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に発表しました「平成26年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」に記載された数値から変更はありません。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



売上高および経常利益の見通し

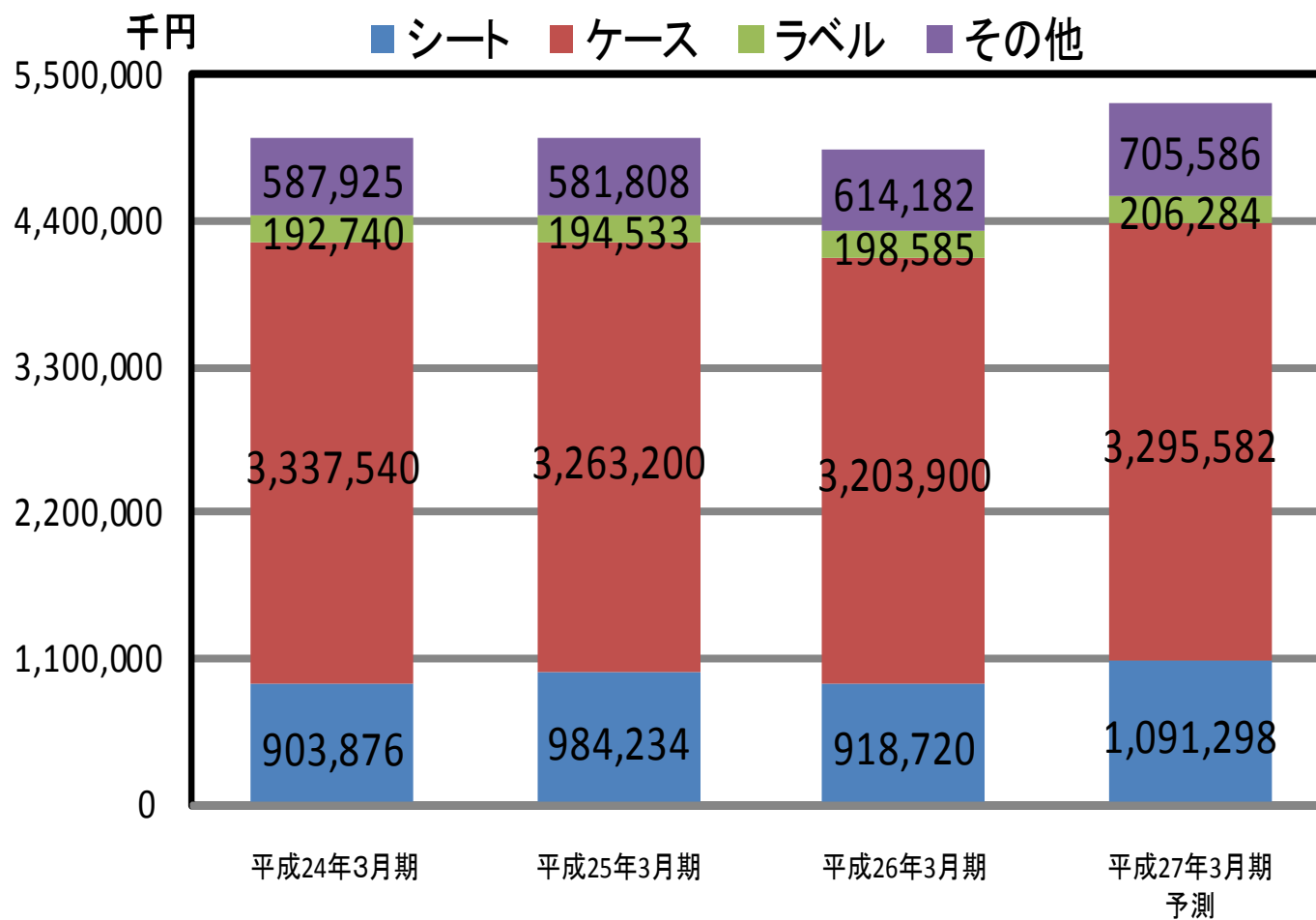
※売上高5,298百万円(前期比7.4%増)、営業利益401百万円(同3.0%減)、経常利益400百万円(同7.0%減)及び当期純利益228百万円(同15.3%減)を計画しております。



	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期 予測
売上高	5,022	5,023	4,935	5,298
経常利益	420	429	431	400



品種別売上高の見通し





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。